

船舶インシデント調査報告書

令和3年10月27日
運輸安全委員会（海事専門部会）議決

インシデント種類	運航阻害
発生日時	令和2年9月28日 15時50分ごろ
発生場所	長崎県 ^{ごとう} 五島市 ^{ふくえ} 福江島 ^{さきやま} 崎山鼻南東方沖 崎山港防波堤南灯台から真方位124° 1.2海里付近 (概位 北緯32° 38.9′ 東経128° 54.6′)
インシデントの概要	旅客船おうしまは、航行中、右舷主機の運転ができなくなり、運航が阻害された。
インシデント調査の経過	令和2年10月29日、主管調査官（長崎事務所）を指名 原因関係者から意見聴取手続実施済
事実情報 船種船名、総トン数 船舶番号、船舶所有者等	旅客船 おうしま、42トン 134577、有限会社黄島海運 ディーゼル機関（2基）、船内機、4サイクル、出力441kW（/ 基）、回転数毎分2,100、6気筒、ボア132.9mm、使用燃料 A重油、平成8年1月機関製造、平成8年3月6日進水
乗組員等に関する情報	船長、六級（航海） 機関長、四級（機関）（機関限定）
負傷者	なし
損傷	なし
気象・海象	気象：天気 晴れ、風向 北東、風速 約5m/s、視界 良好 海象：波高 約1.5m
インシデントの経過等	本船は、船長及び機関長ほか1人が乗り組み、旅客2人を乗せ、五島市赤島港から同市福江港に向けて航行中、機関長が機関室で右舷主機から異音を生じているのを認め、直ちに右舷主機を停止した。 本船は、左舷主機のみで航行を続けて福江港に到着した。 右舷主機は、本インシデント後、機関修理業者が点検したところ、船尾側から順に番号が付された4番シリンダの排気弁（以下「本件排気弁」という。）の弁傘部に欠損を生じていることが判明した。 右舷主機は、令和2年3月の定期検査におけるシリンダヘッドの解放点検時に本件排気弁の交換が行われ、本インシデントまでの運転時間は約1,275時間であった。 機関製造会社が推奨するシリンダヘッドの解放点検は、2,500時間ごと又は1年ごとであった。
分析	本船は、航行中、本件排気弁の弁傘部が欠損したことから、右舷主機の運転ができなくなり、運航が阻害されたものと推定されるが、本件排気弁の弁傘部が欠損した状況を明らかにすることはできなかつ

	た。
原因	本インシデントは、本船が、航行中、本件排気弁の弁傘部が欠損し、右舷主機の運転ができなくなったことにより発生したものと考えられる。